

施策番号 1-2	施 策 名	雇用促進プロジェクト	基本的方向	誰もが希望する働き方でいきいきと輝けるまちをつくる		
			基本目標	安定した産業と雇用を創出し、誰もが活躍できる社会づくり		
	主 管 課	商工労政課	課長名	仲野 裕司	内 線	246
	施策関係課	健康福祉課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果		
年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが希望する働き方を実現し、いきいきと輝いて暮らせる取組を進める		町民	・起業者や多様な働き方を実現する ・町内企業の経営安定化と、障がい者の自立を進める				・誰もが活躍できる社会になる ・住み慣れた地域で安心して住み続けられる		
重要業績評価指標 (KPI)	説明	単位	策定時(基準値)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度(目標)	
① 町の支援により起業した人数	実績数(R2～R6累計)	人	3	2	2	3	5	10	
② 就労支援事業所から一般就労した方の人数	実績数(R2～R6累計)	人	8	1	4	6	9	12	
③									
評価指標設定の考え方	①起業を希望する方を対象にしたセミナーなどを通じて起業者を増やす。 ②誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現のため、障がい者の自立支援と社会参加の促進を目指し、第5期総合計画の成果指標と同様としている。								

2. 施策の事業費

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算	2023年度決算
施策事業費(千円)	6,254	13,291	12,493	12,694
人工数(業務量)	0.0109	1.2364	0.5470	

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2023年度の成果評価 (前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	○起業セミナー等を通じた2023年度の起業事例が2件あった。セミナー受講者も2022年以降は大幅に増加している。 ○企業との橋渡しなどの「就労支援」を通じて、トライアル雇用から一般就労に繋がっている。
②2024年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる	根拠 (理由)	○2023年度から「元気な商店街づくり支援事業」において、新規起業者を支援する制度を実施しており、1件の活用案件があった。2025年度までは継続実施の見込みであり、今後も起業・創業事例の増加が見込まれる。 ○職場実習支援において、生活リズムの改善や日常生活の自立及び役場業務の経験を重ね、町内企業での体験へ段階的に進めることで、就労スキルや社会性を身に付け一般就労への自信にも繋がることが見込める。
	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能		
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい		
(2) 施策の成果評価に対する第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	起業・創業支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
	障害者者就労支援事業		
③事務事業全体の振り返り(総括)	○起業セミナーにおいては、2022年度から性別を限定せずに参加者を募集した結果、2023年度は述べ35名の参加があった。 ○町内立地企業訪問を行う中で雇用に関するニーズ把握を行ない、障がい者の雇用促進につなげるべく担当課の連携を継続している。 ○芽室町ハローワークの認知度向上とともに、障がいを持つ方や、その保護者からの相談も増えていることから、障がい福祉係が事業を委託するNPO法人と密に連携をしている。 ○町内企業等との情報交換・連携を密にし、障がい者雇用の制度や先進事例の情報提供等を重ね、企業側からの問い合わせやトライアル雇用の調整相談等もあり、障がい者の一般就労促進の取り組みを進めることができている。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(総合戦略策定時との比較)							
担当課 評価	○セミナー受講者から新たな起業事例が生まれている。 ○障がい者雇用については、芽室町ハローワークを介して、NPO法人や派遣事業者との連携体制が生まれ、障がい者雇用の強化に繋がっている。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A:実現した

B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した

C:(総合戦略策定時と比較して)前進した

D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した

E:(総合戦略策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	○起業セミナーの対象者を拡大して以降、参加者の増加が続いていることから、性別・年代問わず一定の起業志向がある人の受け皿となっているものと推察される。今後は、起業時の物件サポート、起業後の経営安定化・定着を促す支援策も必要である。 ○企業の障がい者雇用に対するニーズは依然高く、雇用までのプロセスや手法の明確化など適切なサポートを継続することで、障がい者雇用が進めてられていくものと考えられる。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	○障がい者の就労機会の確保と自立促進・支援 →(対応):企業訪問等を通じた一般就労先の掘り起こしを継続している。 ○労働力不足対策の推進 →(対応):雇用促進住宅運用、芽室町ハローワーク運用の継続、人材確保対策の改善検討・予算化。 ○町民を巻き込んだ障がい者の自立支援の取り組みの推進→(対応):障がいの有無によって分け隔てられない地域共生社会の実現に向け、地域活動支援センターの新設と機能強化。

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

○起業・創業支援では、基礎学習と仲間づくりの場である「セミナー」に加え、継続的なフォローアップとしての「個別相談」の継続、コミュニティ醸成の「交流会」の継続実施によって 起業希望者や起業者が、個々の状況に応じた相談・助け合いができる環境を引き続き構築していく。 ○企業への個別訪問に併せ、一般就労先企業を掘り起こしと、サポートする関係課連携体制を継続する。 ○就労体験事業において、社会参加の経験を重ねて職場実習生へのステップアップを支援する。 ○地域おこし協力隊を中心に、一般就労を目指す方への支援やアウトリーチ活動を推進していく。(アウトリーチとは生活課題を抱えながら福祉の支援を受けていない方に情報を届け、公的支援を通して生活課題を解決する取組)

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	起業セミナーの実績も上がってきており、障がい者への就労支援やバックアップ体制も進んでいる。庁内評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	特になし	A:実現した B:(総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C:(総合戦略策定時と比較して)前進した D:(総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(総合戦略策定時と比較して)後退した					